



「食農連携促進事業活用事例」

沖縄県産果実を活かした新商品を開発！



Point

農林水産省では、地域の食品産業や農林水産業等の連携促進により、国産農林水産物を活用した新商品開発や販路拡大のための取組を支援しています。

農林水産部

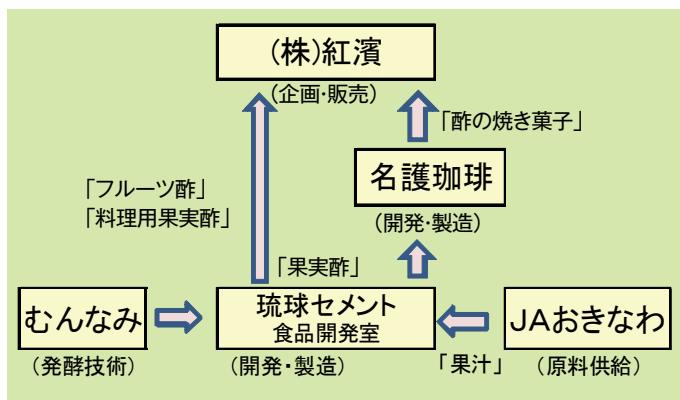
沖縄ならではの新商品開発を

沖縄は亜熱帯海洋性気候に属し、本土にはない多様な農林水産物が生産されていることから、これらを活かした新たな商品開発・販売促進は観光産業との連携等により地域経済の発展を図る上でも重要な要素となります。

しかしながら、新商品開発には原材料の調達や製造技術及び施設、販売先の確保、資金調達等で多くの課題やリスクがあります。

農林水産省では食品製造業者と農林水産業者の連携による国産農林水産物を活用した新商品の開発等について、「食料産業クラスター協議会」を通じた事業支援を行っており、沖縄でも同事業を活用した取組みが平成19年度から行われております。

相互の技術、資源を結集
同協議会の取組として、平成20年



さっぱりした味の「飲むフルーツ酢」(左)と「料理用果実酢」

食農連携促進事業について

農林水産省では、このような農業や食品産業などの異業種が連携して新商品の開発等を行う集団を「食料産業クラスター」として、その取組に対する支援を「食料産業クラスター展開事業」により実施してきました。こうした中、地域経済の活性化を図るための「農商工連携促進法」が20年度に施行されたことから、今年度より補助率等を拡充した「食農連携促進事業」として事業名も変更し、引き続き、新商品の開発や販路拡大への支援を実施しております。

度は、沖縄県産のシークヮーサー、タンカン、パインアップル果汁の果実酢を活用した「飲むフルーツ酢」、「料理用果実酢」、「果実酢の風味と香味を活かした焼き菓子」が開発されました。

新商品の開発にあたり、「豆腐よう」など沖縄伝統食品の販売を手がける(株)紅濱を中心企業として、JAおきなわが原料を供給するなど、それぞれの技術や資源を結集しました。



果実酢の風味と香味を活かした焼き菓子



新商品発表会で果実酢を活用した新商品をPR
(7月14日、沖縄総合事務局にて)

